

事業所名		プレジール				公表日	R7年 2月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		1日定員10名に対し、活動に応じて5つの部屋に分かれて活動できるように設定しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		法定で必要とされる職員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	場所や日々の活動内容を視覚的にわかりやすいように掲示しています。	トイレや階段のバリアフリー化は未整備なため、今後改善が必要である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日、事業終了後や開始前に清掃・消毒（床や机、椅子、ドアノブ、使用したおもちゃ等）を行ってチェック表にて確認しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		日々利用児の活動や体調に応じて部屋を利用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎日の振り返りと月一回の会議で、ケース会議を行い、共通理解を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者の方へアンケートを実施して、業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		支援開始前と支援終了後に打ち合わせをし、打ち合わせが出来ない日は、連絡ノートにて職員間の共通理解と情報共有を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		第三者による外部評価は、現在行っていません。今後必要に応じて実施していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		虐待防止研修や外部講師を招いての研修、オンライン研修などを行っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7		現在作成中のため、今年度中には公表しません。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		サービス計画期間ごとにアセスメントを行い、計画会議を行いサービス計画書を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		一人一人の特性に合わせて、全職員で作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		サービス計画期間ごとにアセスメントを行い、計画会議を行いサービス計画書を作成しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		ケース記録に利用時の様子を記入し、保護者との連絡ノートにて体調を確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		7		令和7年度より新ガイドラインに沿った目標を設定します。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		一人一人の特性に合わせて、全職員で作成しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		必要に応じてケース会議を実施して、より良い活動を目指しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援開始前と支援終了後に打ち合わせをし、打ち合わせが出来ない日は、連絡ノートにて職員間の共通理解と情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		ケース記録を毎日記録し、全員で確認し、必要に応じて改善して行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		支援期間ごとに、見直しが必要か確認しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	1	日常生活動作は日々の支援で行っており、創作活動では、作る、ダンス、散歩へ出かけ自然と触れ合いや地域の方との交流もあります。いろいろな遊びの提供をし、好きな遊びを選べるよう支援しています。	今後も職員間で共通理解を深め、4つの基本活動を組み込んだ支援を徹底していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		日々の活動や季節の行事について要望を聞きながら活動内容を計画しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		毎回、各職員と情報共有を行い、児童発達支援管理責任者が出席するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		ご利用前の担当者会議で情報共有をし、必要に応じて連絡をとれる体制をとっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		下校時にご利用者の様子などを確認し、担任の先生にその日の様子をお尋ねしています。又、行事予定や下校時間などはプリントをいただいで確認しています。トラブル発生時などは連絡先を交換して対応できるようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		ご利用前の担当者会議で情報共有をし、必要に応じて連絡をとれる体制をとっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		最後の担当者会議で就労先の事業者さんも出席されて、情報共有をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		研修会があれば、出席するように心がけています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	公園に行った際、地域の子どもと一緒に遊ぶことがあります。	児童クラブなどの交流は限られた時間内では難しいため実施しておりません。今後は、長期休暇期間中に交流できるよう考えていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		参加していませんが、必要に応じて参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時にその日の様子を伝え、家庭での様子をお聞きして共通理解をしています。又、連絡帳などでも確認しています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			研修会等は行っていませんが、今後検討していきます。	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		ご利用契約時に行っています。変更があれば、その都度説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		相談があれば、対応させていただいており、こちらからの情報を提供させていただいています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		7		コロナ渦などでおこなっていませんが、今後、年に1回の保護者会の開催を考えています。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情受付先を玄関に貼って周知し、ご意見箱を設置しています。苦情は迅速な対応を心がけて行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		年に3回の通信発行とホームページにて活動内容・行事予定等の情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		写真・お名前の掲載同意書や個人情報同意書で保護者に確認し、十分に注意して行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		ご利用者さんの障害特性にあったコミュニケーション方法をとっています。又、保護者の方には直接または連絡帳などにより情報伝達を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		地域の公民館をお借りしたり、公園や散歩に出かけ、地域の方との交流を心がけています。	地域住民の方をご招待する行事に取り組んでいませんが、今後検討していきたいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルを策定し、ファイルの設置や掲示にて確認できるようにしています。年3回程度避難訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		火災・地震避難訓練、不審者対策訓練と消防署の方と一緒に消火訓練を年4回行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		保護者との面接により、詳細を伺い、職員全員で情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		情報共有できるように明確に掲示し、職員全員で確認できるようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		感染対策、安全管理等の研修会を定期的に行って安全管理への意識向上を図っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			今後広報誌やホームページなどで保護者の方にお伝えしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの事例があれば、記入してその日のケース会議で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止のポスターや職員向けプリントを貼り、研修会を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束が必要になるケースでは、職員会議にて協議し、記録を徹底しています。		